

2006 年度

科目名	対象学科・学年 教育福祉学部 教育福祉学科 1 回生 (通年・隔週)	担当者 たけもと ふ ゆ の しん 竹本封由之進	
総合演習 I			
授業テーマ 「人類共通の諸テーマ及び我が国の社会全体に関わる諸テーマ」(課題設定) (「総合的な学習」教育法研究)			
授業の概要と目標 子どもたちの「生きる力」を育てるこれからの教員には、自らが、「地球や人類の在り方」を考えるとともに、培った幅広い視野を教育活動に積極的に生かしていく「行動的で、実践的な資質能力」を備えもつことが強く求められる。 この授業では、「人類共通の諸テーマ及び我が国の社会全体に関わる諸テーマ」のうち、いくつかについて課題を設定し、可能な限り実地・体験的な方法で自らの学び方を進め、幼児・児童への教育という観点から指導の方法を試行錯誤するなど、主体的な学習を展開する。			
評価方法 出席率(学習活動の参加度)や主体的な行動・実践な追究姿勢を重視する。 また、主体的・体験的な自己形成への努力と成長の姿を基に「自己評価」を行い、担当教員による指導評価と併せ、総合的に評価を行う。			
テキスト 学習資料を、適宜配布する。	著者	出版社	
参考書 適時紹介をする。	著者	出版社	
授業スケジュール・内容			
講	学習展開	学習の活動	学 習 の 内 容
1	話す・聴く	大学生活について	・教育福祉学科の学生生活と自らの人生について
2	知る	学習の進め方について	・問題解決学習の方法について
3	考える	研究の目標について	・現実認識と課題解決への展望について
4	調べる	目標分析と研究課題の設定	◆これよりグループによる研究活動
5		研究報告文の作成方法について	
6	発表する	レポート、論文の書き方について	全員発表と研究討議(事後、印刷発表)
7	観る・聴く	2 回生の研究発表に参加する	
8	計画する	課題別グループの決定 ・役割と仕事内容 ・研究・調査の方法と計画の立案	・研究課題の抽出(チャレンジマップの作成) ・研究課題の選択と課題別グループの編成 ◆これよりグループによる研究活動
9	行動する	課題の追究・実地調査の活動・見学や体験参加(グループ毎)。 ・記録調査資料の収集 ・図書資料等による研究	《問題解決的学習・体験的学習の展開》 ◆これよりグループによる学外研究活動となる *研究報告文作成・提出(9月20日)
10			
11	考察する	研究報告と意見交換	
12	整理する	伝達発表の方策 ・口頭発表原稿の作成 ・壁新聞、パネル作成 ・ビデオ、写真、OHP 等	研究発表に向けて、作成活動 プレゼンテーションの仕方
13			
14	広げる	研究発表(口頭および展示)	全員発表と研究討議(事後、学内展示発表)
15	評価する	「学習」のまとめ	◆研究の評価 自己評価表提出
* 研究計画を話し合いながら進めるため、変更することがあります。 * 上以外にも、見学、調査、上級生との交流活動等も入る場合があります。			